

第二次桶川市健康づくり推進計画及び第二次桶川市食育推進計画（案）に関する意見等の募集結果

N O.	項目等	意見等の概要	市の考え方
1	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4章 健康づくりの推進の1 ライフステージと健康づくり分野の設定 ・ ライフステージを年代に分けて設定していることで、漏れてくる施策があり、本気度が見えない。例えば、①リプロダクティブライフヘルツの観点からの女性、妊婦を対象とする施策、②働く層を対象とした、ワークライフバランス、③子どもや高齢者を対象として虐待の防止、④若者を対象としたデートDVの防止や救済と性教育、⑤成人層を対象としたDV防止と救済などは、全て健康づくりに関係する事である。他の計画とダブることがあっても、連携も含めて、項目を変えて、計画に明記すべきである。また、埼玉県健康長寿計画でも「社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上」の中で、これらを位置づけている。市の計画は、多様な市民の生活や在り様に対して、決め細かい施策が重要である。 	<p>計画の基本理念は、「みんなでめざす健康・えがおの桶川」としております。健康長寿をめざし、生活習慣やその原因となる生活習慣の改善等に関する課題について、ライフステージ別の健康づくり6分野(①栄養・食生活②身体活動・運動③休養・こころの健康・社会とのつながり④たばこ・アルコール・薬物⑤歯と口腔の健康⑥自分の健康を守る)と食育3分野(①健全な食生活の実践②食の理解と食文化の伝承③食の安全)の取り組みを推進していきます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、関係各課の計画などとも連携しつつ、健康づくりの取り組みを推進させていただきます。</p> <p>また、「②働く層を対象としたワークライフバランス」につきましては、成人前期及び成人後期の取り組みに次の内容を追記させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランスの普及啓発をしていきます。
2	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりに係る施策は行政計画ではないのか。それに関わらず、「個人・家庭での取り組み」で、市民向けに啓蒙する内容は、なじまない。個人・家庭での取り組みを促す取り組みとして計画に明記すべきである。幼児期などの取り組みを、市民に向けて書いたところで、意味はなく、子育て世代への取り組みとして、書くべきではないか。 	<p>健康づくりは、市民一人ひとりが、「自分の健康は自分で作り守るもの」という意識を持ち、自分自身の健康づくりを楽しみながら、主体的に取り組むことが求められます。</p> <p>そのためには、各ライフステージで、健康的な生活習慣を身につけながら、生涯にわたり健康づくりをしていく</p>

			<p>ことが重要と考えます。家庭は、健康的な生活習慣を互いに高め合うとともに、次代の社会を担う子ども達の基本的な生活習慣を身につけさせる最も重要な役割を担っております。</p> <p>このことから、個人を取り巻く地域や行政など、社会全体での取り組みとは分けて、個人・家庭での取り組みを明記させていただいております。</p>
3	<p>第2章 桶川市の現状 2 疾病等の状況 (1) 死因別死亡数と構成比 P 9</p>	<p>・ 当市の死亡率原因について、脳血管疾患が県平均と比較して、2.3%と異常に高い原因についての分析も取り組みもない。桶川市に病院がないことも、その原因の一つになっていると考えられるが、病院の誘致に取り組むとともに、医療体制の不足をカバーする市独自の施策が必要である。</p>	<p>脳血管疾患による死亡は、高血圧症や脳梗塞、糖尿病などの生活習慣病との関連が深いと言われております。</p> <p>健康づくりの取り組みは、生活習慣病予防につながるものと考え、本計画は健康づくりおよび食育の推進を視点にまとめております。</p> <p>病院の誘致を含む医療体制に関する取り組みは、都道府県毎に策定している医療計画の中で取組を行っていることから、原案どおりとさせていただきますので、ご理解を賜りたいと存じます。</p>
4	<p>第4章 健康づくりの推進 2 ライフステージに応じた健康づくり 【成人前期】(20歳から39歳) P 38</p>	<p>・ P38、妊娠中に1回無料で歯科健診が受けられる妊婦歯科健診を実施します、とあるが、産後や授乳期の方が歯に影響が大きく、産後検診の無料化も実施すべき。</p>	<p>妊娠・出産による歯の健康の悪化を防ぐためには、妊娠中から歯の疾患の予防に積極的に取り組む必要があるため、妊娠中の歯科健診を1回無料にする取り組みを行っているところでございます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>

<p>5</p>	<p>第4章 健康づくりの推進 2 ライフステージに応じた健康づくり 【高齢期】(65歳以上) P 4 5</p>	<p>・P45、家庭や地域でできる健康体操(オケちゃん健康体操など)を普及し、体を動かす機会を増やします。とあるが、公民館事業などで市が主体的、継続的に健康教室を開催し、市民が参加する機会を増やします、と変え、積極的取り組みにしていきたい。地域ふれあい事業や憩いの場、老人クラブでは地域格差が生じているので、市の主体的な事業にすべき。</p>	<p>「家庭や地域でできる健康づくり」に取り組むことで、いつまでも元気に過ごせることに繋がります。また、身体活動や運動量の低下は、肥満や生活習慣病を招きますので、高齢期には、筋力低下により転倒骨折、寝たきりといった要介護状態に至ることが懸念されます。</p> <p>このような状況を防ぐには、公共施設等での運動する場や体を動かす教室等の情報提供が大切と考えます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の業務の参考とさせていただきます。</p> <p>また、次のものにつきましては、新たに計画の中に追記いたします。</p> <p>P43「個人・家庭での取り組み」 【身体活動・運動】 ・公民館等で実施する運動に係る講座等に参加しましょう。</p> <p>P45「関係団体・関係機関・行政等の取り組み」 【身体活動・運動】 ・体育施設・公民館等で体を動かす機会の場を増やします。</p>
<p>6</p>	<p>第5章 食育の推進 2 食育の取り組み 【食の理解と食文化の伝承】 P 5 3</p>	<p>・食の安全では具体性がない。安全な食品を提供しますとあるが、関係団体・関係機関・行政等が何をするのか。安全な食品の見分け方などを情報提供しますなどではないか。また、地場産食材を利用するのではなく、利用を増やすとともに、低農薬、有機栽培の野菜・果樹の生産量を増やす取り組みをします、等をも入れる。</p>	<p>安全な食品の見分け方などを情報提供することにつきましては、原案のとおり食品の安全性や食に関する知識と理解を深めるため、正しい情報の提供を行います。また、低農薬、有機栽培の野菜・果樹の生産量を増やす取り組みにつきましては、安全とされる農薬の基準を設けて審査することや有機栽培にかかる生産者側の負担等を考</p>

			<p>慮し原案に取組内容の記載をいたしません、現在、市内に減農薬で育てる（特別栽培）米を栽培している生産者がおりますことから、引き続き安全な食品の生産量を増やしていくように生産者と協力しながら取り組んでまいります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
7	2 計画の目標 P 5 6	<p>・計画の目標、朝食を毎日食べている人の割合の増は、幼児・小中学生の短期目標も100%にし、直ちにに取り組むべき内容である。</p>	<p>朝ごはんを摂ると、睡眠中に低くなっていた体温を上げ、脳や身体を目覚めさせる効果があり、集中力を高め学習の効率の上昇にも繋がるものと考えております。</p> <p>よって、「計画の目標」の「朝食を食べる人の割合の増加」では、短期目標を「100%」と修正し、併せて、朝ごはんの大切さの周知に努めてまいります。</p> <p>・短期目標値 「98.0%」を「100%」に変更。</p>
8	2 計画の目標 P 5 6	<p>・学校給食で地場産物を使用する割合（食材の種類）の増加が、6年後に30%とは本当にお粗末。受給量を調査したうえでの数値なのか。最低50%にすべきである。</p>	<p>埼玉県が実施していた「学校給食における地場産物活用状況調査」に基づき、調査したうえでの数値となっております。</p> <p>指定された期間における学校給食に使用した桶川市及び埼玉県産の割合（食品数ベース）が調査項目となっております。</p> <p>これまでの調査結果の推移や現状を踏まえ、原案どおりとさせていただきますので、御理解を賜りたいと存じます。</p> <p>また、地場産の使用量につきましては、引続き利用の拡</p>

			<p>大を図っていきます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、関係機関、関係各課とともに今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
9	計画全般	<p>・身体活動で、公民館事業を入れていただきたい。すべての公民館で週1回の健康（運動）教室の開催に。</p>	<p>公民館では、健康体操など身体を動かす講座等を実施しているため、引き続き事業の推進や情報提供に努めてまいります。</p> <p>また、次のものにつきましては、高齢期（65歳以上）の取り組みとし、次の内容を追記いたします。</p> <p>P43「個人・家庭での取り組み」</p> <p>【身体活動・運動】</p> <p>・公民館等で実施する運動に係る講座等に参加しましょう。</p> <p>P45「関係団体・関係機関・行政等の取り組み」</p> <p>【身体活動・運動】</p> <p>・体育施設・公民館等で体を動かす機会の場を増やします。</p>
10	その他	<p>・コロナワクチン予防接種について、きちんと説明をしてください。</p>	<p>新型コロナワクチン予防接種につきましては、国の動向に合わせ、市民の皆さんに周知させていただいているところです。</p> <p>市のホームページや広報紙等で引き続き周知をさせていただきます。</p>
11	その他	<p>・学校給食について、共食、食育の大切さを伝えるために、友達と顔を見せ、コミュニケーションがとれる給食にして下さい。</p> <p>班給食にさせてください。以前の日常に戻して下さい。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、関係機関、関係各課とともに今後の業務の参考とさせていただきます。</p>

1 2	その他	<p>・学校給食の品数が少ないです。7人に1人が貧困です。一汁三菜の和食を基本とした栄養バランスのとれた十分な給食を与えてください。</p>	<p>学校給食の提供につきましては、文部科学省が策定している学校給食摂取基準に基づき、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供しております。品数につきましては、いただきましたご意見を参考に今後の献立作成をしていきたいと存じます。</p>
1 3	その他	<p>・学校で香害に悩んでいる児童、職員もいますので、香害についての周知、対策をお願いします。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、関係機関、関係各課とともに今後の業務の参考とさせていただきます。</p>